

平成 26 年度中央農試公開デーに 3 回目の出展参加

新井雅博

平成 26 年 8 月 1 日（金）9 時 30 分～15 時、長沼町にある地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部中央農業試験場で開催された、中央農試主催の公開デーにさけます・内水面水産試験場が出展参加しました。



写真 1 中央農試公開デーの受付

公開デーは、毎年この時期に地元の小・中学生や農業関係者等を対象に広報普及や体験学習の場として開催されており、さけます内水試の参加は、一昨年、昨年に続いて 3 回目の参加となりました。道総研からは、さけます内水試のほか林業試験場も参加し、道総研の組織や水産試験場で行っている研究の取組み等について紹介しました。



写真 2 公開でデーに参加した内水試職員

今回の公開デーも、好天に恵まれたこともあり、573 名（大人 345 人、子供 228 人）もの来場者がありました。

会場では、体験展示コーナーや試験ほ場のバス見学等が催され、会場からは、「水辺に棲む生き物たちを観察しよう！」と題して、展示コーナーに 3 つの水槽を置いて、ヤマベ、フクドジョウやベステル（チョウザメの稚魚）等を展示しました。会場職員から見学の子どもたちに魚の生態などについてわかりやすく説明し、写真やポスターなどを使って、解説しました。



写真 3 展示したサクラマスの稚魚（ヤマベ）

また、別棟の体験コーナーでは、畑の土で絵を描こうや小麦「きたほなみ」でクッキー作りの体験コーナーもあり、子ども達に大人気でした。

この日は、町内外から多くの小中学生が集まり、普段は静かな試験場内に一日中、子供達の歓声が響いていました。



写真 4 魚の生態について説明する内水試職員

（総務課 あらい まさひろ）